

目 本初のサッカー・ナショナルトレーニングセンターとして平成9年(1997)にオープン。JリーグやW杯日本代表のサッカー選手が合宿で利用するなど、スポーツ選手をはじめ県内外から多くの人が訪れる人気の施設となりました。

東日本大震災では津波の被害は受けなかったものの、原発事故により施設は休止。震災直後から約8年間にわたり原発事故収束の拠点となったのです。ピッチの上に車や鉄板が置かれるなど景色は一変。営業の再開を願う日々が続きました。

全面再開は2019年4月から。福島復興のシンボルとして従来の施設のリニューアルに加え、全天候型練習場とホテルが新設されました。さらにセンターハウス1階では、開業時から全面再開までの歩みをパネルで展示。4階展望ホールでは「Jヴィレッジの軌跡」などの映像コンテンツを見ることが出来ます。



センターハウス1階に設置された「J-VILLAGE STREET」。開業から一部営業再開を経て、2019年の全面再開までの歩みが紹介されている。Jヴィレッジは東京五輪の聖火リレー出発地にも選ばれた



東京電力福島第一原発の事故収束の対応拠点となった。サッカー練習施設だったJヴィレッジは、営業休止の間、ピッチは駐車場となり、敷地内には原発作業員向けのプレハブ宿舎が並んだ



東京ドーム約10個分の広さを誇る。天然芝や人工芝のピッチが用意されているほか、プールやフィットネスジム、アリーナ、屋内練習場、ホテルなどを備えた東北屈指の施設となっている

考えてみよう

Q1 震災から約8年もの間、休業を余儀なくされたJヴィレッジですが、休業中は原発事故の収束拠点としてどのように利用されていたのでしょうか?

●ならはまち
楡葉町

●なしよなるとれーにんぐせんたーじえいういれつじ
National Training Center J-VILLAGE

●なしよなるとれーにんぐせんたーじえいういれつじ

楡葉町の被害状況

- 最大震度 6強
- 浸水面積 3km²
- 最大浸水深 19.74m
- 全壊 147棟
- 半壊 1,218棟
- 一部損壊 289棟
- 死者 152人
- 行方不明者 2人
- 負傷者 5人

※被害状況のデータについては、注釈がないものはP.1下段に記載の資料に準拠
※空欄または「不明」としているものは準拠資料の通りに掲載

その他

(スポーツ施設)

施設ガイド

車椅子OK

※要予約

施設DATA

●なしよなるとれーにんぐせんたーじえいういれつじ

National Training Center J-VILLAGE

☎ 0240-26-0111 MAP P116F3

📍 楡葉町山田岡美シ森8

🚶 JRJヴィレッジ駅から徒歩5分

🏠 施設により異なる(ホームページで確認)

🚌 あり(大型バス:あり)

https://j-village.jp



A1 ピッチは原発の事故処理にあたる人々の駐車場になった。そのほか、屋外・屋内ともに建設資材や食品などの物置き場としても利用された。